

IPSF World Congress (IPSF世界大会)

薬学生の皆さん、こんにちは！
季節も秋になり学祭シーズンになりましたね。皆さんの大学は盛り上がっていますか??

毎号報告させてもらっています「薬学生の集い」の活動報告ですが、今回は9月号のAPPSの報告に引き続きまして、世界の存在感を改めて実感したIPSF世界大会の報告を、皆さんにお伝えしたいと思います。

第55回IPSF世界大会は8月3日から13日まで常夏の島、インドネシアのバリ島で行われました。参加者数は42カ国、約300人にも上り、日本からは3人が参加しました。

IPSF世界大会は、世界中の薬学生及び若手薬剤師が集う毎年恒例の年会で、IPSFは今年で創立60周年を迎えたこともあり、とても盛り上がりました。

IPSF世界大会では期間中、GA（General Assembly：総会）やワークショップ、PCE（Patient Counseling Event）などのシンポジウムをはじめ、毎晩行われる様々なソーシャルイベントが行われました。全てについて詳細をお伝えしたいところですが……スペースの関係上、いくつかピックアップしてご紹介したいと思います。

GA（General Assembly：総会）

GAはIPSFの最高意思決定機関です。GAでは、新規加盟国の承認、幹部の今年度の活動報告&承認や、来年度の幹部の選挙などが行われました。選挙権は正加盟国に1票ずつ与えられ、代表者たちによる本音の白熱した質疑応答が繰り広げられました。

また、今回のGAで6つの正加盟国、5つの準加盟国の承認が行われ、IPSFのさらなる活動の広がり期待したいと思います。期間中、30時間以上もかけて行われたGAはIPSF世界大会の中でも最も重要なイベントの1つでした。

Workshops(ワークショップ)

タバコなどに関する公衆衛生、偽薬防止などのワークショップや、IPSFのルールについて、IPSFをよりよい団体にするためにはなど、様々なワークショップが開かれました。

私はGAに参加していてあまり参加できませんでしたが、IPSFをよりよくするワークショップに参加できました。ここでは、IPSF in your Hands (IPSFはただ見ているだけではなく、自分の手でIPSFを作っていく!)を合言葉に、スポンサーを取るべきか、コンGRES中の時間配分はこれでいいのかなど、11の質問について、10人ほどのグループでディスカッションしました。参加者はIPSFの問題を自分自身の問題として捉えており、英語が不得意な人も積極的に発言しており、この世界会議をよりよくしようという姿勢にとっても感動しました。

PCE（Patient Counseling Event）などのシンポジウム

期間中、最も多く行われたイベントはPCEです。PCEは国際薬剤師・薬学連合（International Pharmaceutical Federation, FIP）とIPSFの共同プロジェクトによって作成された、薬剤師のためのカウンセリングマニュアルをもとに、模擬患者に対して常用している薬の副作用の確認・その軽減のための施用なども含めて、服薬指導についてコンテストを行い、優勝者を決めるというものです。日本ではあまり知られていませんが、今後の薬学生・薬剤師にとって、必要であろう能力

の1つだと実感しました。

また、PCEのルールの見直しも行われており、ただイベントを行うだけでなく、さらに発展させていこうという姿勢が見受けられました。また、教育的、科学的内容について、講師による講演もあり、講演を聞いて小グループに分かれディスカッションを行うなど、様々なシンポジウムが行われました。

Social Event (ソーシャルイベント)

朝9時から夜6時まで、真剣に会議やシンポジウムを行った夜は、参加者全員でパーティーです。

各国の民族衣装でのダンス、バリ島伝統舞踊やケチャダンスの鑑賞、クラブでのダンスパーティー、海辺のレストランでのIPSFの誕生日会などが行われました。また、2日目に行われたAuction Night（オークションナイト）では、各国から持ち寄ったものをオークション形式で落札していきます。売上は国際会議や交換留学、経済的困難な学生への支援など、IPSFの活動に充てられるとあって、落札者たちは高額な取引にもかかわらず、とても楽しそうでした。

イベントの締めくくりはホテルのプライベートビーチ近くの会場でのGala Nightでした。参加者はドレスアップして美しく着飾り、共に過ごした仲間たちとたくさん写真を撮り合いました。

また、PCEの優勝者発表、大会期間中を回顧するビデオが流されたりして、本当に楽しく過ごすことができました。このような素晴らしい出会いの場を提供してくださった実行委員の皆さんに感謝です！

参加してみよう

11日間という、とても期間が長いイベントでしたが、とても短く感じました。約300人の参加者という、とても大きなイベントは、同じ薬学生であるインドネシアの実行委員のみんなが支えてくれました。学生のうちから学校間を超え、1つのイベントを作り上げている姿に、とても感動しました。英語が理解できないこともあり、戸惑うことも多かったのですが、それを超える驚きと楽しさがありました。また来年も参加したい気持ちでいっぱいです！



世界中の薬学生が集合☆

IPSFとは

1948年に（公式には49年の設立）ロンドンにて、8カ国の薬学生によって創設された世界で最も古い国際学生組織です（今年で60周年を迎えます）。所属会員数は世界79カ国、35万人にも上り、毎年増加しています。会員は学生だけでなく、学位取得から4年以内の若い薬剤師も対象と、幅広い世代がいます。

IPSFはユネスコやWHOなどとも公式に関係を持っており、公衆衛生や専門的能力の開発など、様々なプロジェクトを行っています。主な活動として、公衆衛生のキャンペーン、薬学教育に関する国際的アンケート調査、交換留学、国際会議やシンポジウム、IPSFの会報等の出版物発行など多岐にわたり、将来の薬学生と薬剤師の育成に貢献しています。

Information

①12月12、13日：「第11回薬学生の集い年会」

テーマは「Road to Medicine～あなたにとって医療とは?～」日本の医療が大きく変動してきている今、「医療の現状」を知り、「未来の医療」を考えてみませんか？

②第9回APPS（アジア太平洋薬学生シンポジウム）

来年のAPPSはお隣の国、韓国にて行われます。韓国でアジアの薬学生と熱い7日間を一緒に過ごしましょう！

日程：2010年7月5～11日

APPSのHP：<http://apro.ipsf.org>

③第56回IPSF世界大会

来年のIPSF世界大会はヨーロッパ中部の国、スロベニアです。イタリアやオーストリアに隣接する自然豊かな国で、世界約40カ国の薬学生と一度に触れあえる機会は、このIPSF世界大会だけ！

日程：2010年8月2～12日

IPSFのHP：<http://www.ipsf.org/>

興味を持った方、少しでも迷っている方は一緒に行きましょう♪

「薬学生の集い」HP

<http://yakutsudo.web.fc2.com/top.html>

お問い合わせ先

APSjapan_Sec@hotmail.com

文責：薬学生の集い代表

城西大学3年 名取 知美